

被害の被害

上下道の被害は、地震直後に水道管の破損による漏水が横芝、上堺地区で各1件、大総地区で6件が確認され、一部地域での水圧の低下による断水、または減水で済みました。

しかし、栗山川上流の栗源町で、地震のため園芸用施設の重油パイプが破損し、この重油が栗山川に流入したため、その後水道水を取水できなくなり、地震翌日の18日昼ごろから町内全域はもとより、山武地域全域が全面断水する事態となりました。



給水車に長い列が(大島団地)

このため、横芝地区を中心に給水車4台(内1台は役場

消防車)を配車し、飲料水を確保できない家庭に給水をする事となりました。
この状態は、19日午後10時ごろまで、ほぼ34時間続きました。

人的被害

今回の地震による人的被害は、落下物によるカスリ傷程度のケガなどが4件確認されただけで、幸い人命に係る重大な被害はありませんでした。

その他、栗山川の堤とうき裂が8件、ブロック塀の破損が9件確認されました。

また、商店などでも商品類の破損が213件、金額にして一千五百六十万円の被害がありました。

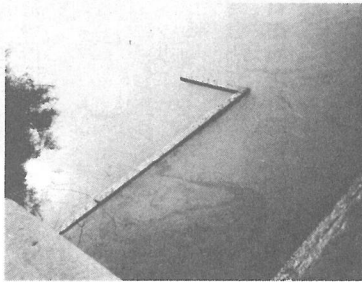


幸い、地震の後の火災は1件も発生しませんでした。が、関東大震災のときは、地震による直接の被害より、その後の火災の被害の方が多かったという事です。グラリときたら火の始末を心がけましょう。

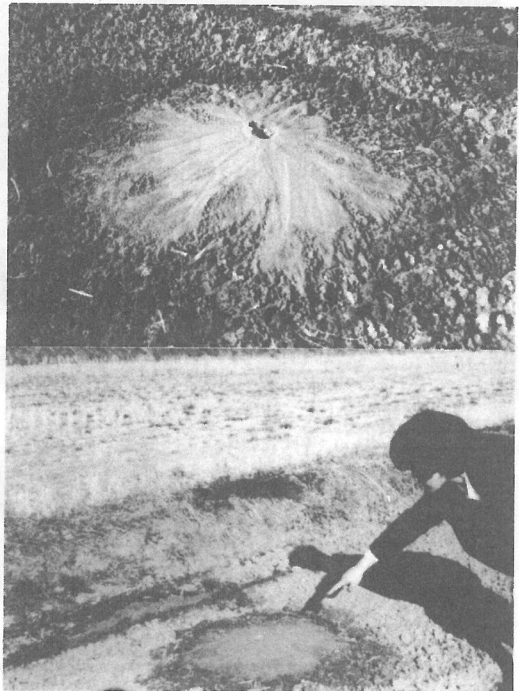
また、現在の科学では、ある程度地震の発生を予想できても、残念ながら発生を防止することはできません。しかし、ふだんから地震などに対する心の準備をしておけば、被害を最小限度に抑えることができます。

今回の地震でも、一番沈着な行動をとったのは幼・保育園児であったと聞いています。これは、避難訓練などを定期的に行い、災害に対する備えをしているからではないでしょうか。

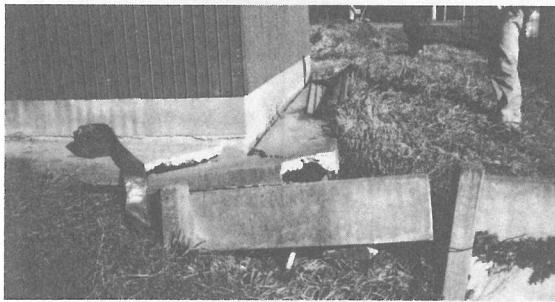
この機会に、いざというとき、それぞれがどのような行動をとればよいかを、家庭や職場のみんなと話し合ってみてはいかがでしょうか。



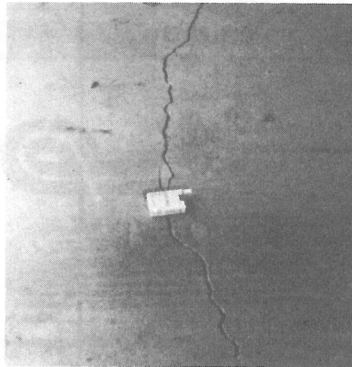
流下してきた油の帯
(新栗山橋で)



▶地盤の液状化による噴砂現象が栗山と谷台で確認されました。(写真はいずれも谷台で)



▲姥山消防機庫裏



▶コンクリート床に入ったき裂
小堤・伊藤日吉さん宅で